

Life みやぎ

エイジングマガジン



2011年12月13日発行

発行 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151

企画編集 河北新報社

協力 宮城河北会

INDEX

- 3-4 ねんりんピック2011熊本
- 5 体操のページ
- 6 イベント&トピックス/お好みシネマ缶
- 7 ピックアップ
- 9-10 宮城いきいき便り
- 11 SUNクラブニュース
- 12 いきいきサロン
- 13 短歌/俳句/川柳/いきいきトライ
- 14 Q&A



「演技競技」に挑む鈴木さん(写真右)と松川さん

なぎなたは、刀と柄から成る道具を用いた武道の一つ。中世日本での合戦用から、女性の武道として形を変え発達してきた歴史がある。

競技は「試合競技」と「演技競技」の二つあり、熊本県立総合体育館(熊本市)でトーナメント戦によって行われた。

「試合競技」はなぎなたを振り上げ、振り返すなどしながら面や小手、胸、すねを打ち、のど元を突くといった正確な打突で勝負を決める。団体と個人戦がある。

一方、二人一組になって、なぎなたの基本の形や技を組み合わせた8本の「しかけ・応じ」わざ

「ねんりんピック」の愛称で親しまれる「全国健康福祉祭」は、60歳以上のシニアのためのスポーツ・文化・健康福祉の祭典。第24回大会が10月15〜18日の4日間、熊本県内13市町で開催された。全国から1万人余りの選手が訪れて交流を深め、熊本の歴史や文化に親しんだ。宮城県チームは、なぎなた種目で団体戦・演技両競技ダブル優勝という快挙。監督や選手に喜びの声を聞いた。

(3、4面に関連記事)

ねんりんピック ふれ愛 2011熊本

火の国で 熱戦4日間

なぎなた女性剣士が快挙



写真中央が高田監督、右が松川さん、奥左が鈴木さん、右が長倉さん

3人は震災後初の今大会に、特別な思いで挑んだ。特に、鈴木さんは東松島市野蒜の自宅を津波で流され被災。震災当日は「仙台市内の教室に出ている、助かった」という。「大会への」参加を迷

神様のごほうび

長倉さんは「先鋒として、少なくとも引き分けにもついでいこうとやっていた。役目を確実に果たしたことで「結果がついてきた」とも語る。

審判からは「動きが柔らかくて、よかった」との評価をもらった。

チームを率いるのは、宮城県なぎなた連盟の会

「試合競技の団体戦では、強豪大阪府との準々決勝で代表者戦までもつれ込み苦戦したが、準決勝・決勝では安定した実力で勝ち上がった。チームは先鋒の長倉みどりさん(64)、中堅の松川恵子さん(71)、大将の鈴木照子さん(65)の3人。いずれも腕達者で、鈴木さんは師範や審判の資格があり、松川さんは個人優勝の経験がある。地元で教室で指導もしている。

ついていた時、松川さんが「出よう」と背中を押してくれた。なぎなたで助かったのだから、失ったものを取り返すつもりで頑張ろうと思った」と鈴木さん。「だから優勝を狙う強い気持ちがありました。結果は、神様がくれたごほうび」と目を細める。

来年は、いよいよ地元宮城での開催だ。「負けるわけにはいきません」と松川さんは力強く語る。

3人は「精神力が鍛えられるし、礼儀も学べる競技。自分たちの活躍がなぎなたを広める機会になると信じ、競技人口の裾野を広げていきたい」と張り切っている。

長も務める高田光子監督(81)。厳しく温かい指導と人柄で、多くの後進を60年近く育ててきた。ねんりんピックでは監督になって8年目の初優勝。「3人は練習熱心な上、チームワークが抜群。いいメンバーがそろった」と話す。

長も務める高田光子監督(81)。厳しく温かい指導と人柄で、多くの後進を60年近く育ててきた。ねんりんピックでは監督になって8年目の初優勝。「3人は練習熱心な上、チームワークが抜群。いいメンバーがそろった」と話す。

来年は、いよいよ地元宮城での開催だ。「負けるわけにはいきません」と松川さんは力強く語る。

3人は「精神力が鍛えられるし、礼儀も学べる競技。自分たちの活躍がなぎなたを広める機会になると信じ、競技人口の裾野を広げていきたい」と張り切っている。

長も務める高田光子監督(81)。厳しく温かい指導と人柄で、多くの後進を60年近く育ててきた。ねんりんピックでは監督になって8年目の初優勝。「3人は練習熱心な上、チームワークが抜群。いいメンバーがそろった」と話す。